

【山梨県】

現在の景気：持ち直しの動きが一服。

3か月程度の見通し：回復に向かうとみられている。

個人消費：上向き傾向。2-3月の商況は、依然節約志向が強いものの、イベント関連商品が好調に推移したほか、実用品も上向くなど、全体では底固い動き。2月の乗用車販売は、普通乗用車が前年比18.8%増加、小型乗用車が23.4%増加し、全体では前年比21.3%増と5か月連続で増加。

住宅建築：横這い。2月の住宅着工戸数は、分譲住宅が前年比30.0%減と3か月ぶりに減少したものの、持家が2.0%増と6か月ぶりに増加、貸家が31.1%増と4か月ぶりに増加し、全体では前年比3.2%増と5か月ぶりに増加。

設備投資：慎重姿勢。医療・介護関連施設、賃貸用建物の新改築など一部に動きがみられるものの、全体では慎重姿勢が継続。

公共工事：横這い。2月の公共工事保証請負額は、国が前年比6,408.3%増加、県が92.0%増加、市町村が80.6%増加し、全体では前年比177.5%増加。足許増加しているものの基調は横這い。

生産活動：弱い動き。機械は、一部に増産の動きがみられるものの、全体では海外経済の減速、生産の海外シフトなどの影響から、弱含み。地場産業関連は、一部に上向きの兆しがみられるものの、需要の減退や輸入品による圧迫などの影響から、低調。

観光：横這い。2月の県内主要観光地は、例年になく寒さの影響などから、宿泊施設の入込みは前年比減少。

雇用情勢：横這い。2月の有効求人倍率は前月比同水準の0.65倍。新規求人数は前年比6.3%増と5か月連続で増加。産業別では、建設業、製造業、運輸業・郵便業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉などが増加、情報通信業、卸売業・小売業、教育・学習支援業、サービス業などが減少。

（トピックス）

○3月5日、山梨県立大学の学生が「甲斐絹」を使用した名刺入れを開発、商品化したと発表。「甲斐絹」は、独特の光沢とさらりとした風合いを持つ絹織物で、昭和初期まで郡内地域で生産されていたが、化学繊維の普及により衰退。こうしたなか、同大では甲斐絹のビジネスの可能性を研究しており、このほど、合同会社を立ち上げ、名刺入れを商品化。生地は、甲斐絹の復活を目指す有志が出資した企業の「甲斐絹座」が供給。

○3月27日、富士山の世界文化遺産登録に向けて活動を行っている県などが、「富士山世界文化遺産協議会」を発足。同協議会は、県のほか、文化庁、関係自治体などで構成し、遺産を構成する資産の保存や管理・整備、周辺環境の保全などについて検討する。登録に向けては、「富士山世界文化遺産登録推進両県合同会議」、「富士山世界文化遺産登録県推進協議会」なども活動を行っている。

＜主要産業の動向 ー山梨県ー ＞

- 一般機械**：半導体製造装置は、受注・生産が減少傾向。液晶製造装置は、液晶パネルに対する需要の減退から、低調に推移。工作機械は、照明用LED製品の需要増加から、LED製造装置関連が増加。
- 電気機械、電子部品・デバイス**：電気機械は、コンピュータ数値制御装置の受注・生産が好調に推移。電子部品・デバイスは、品目により受注・生産にばらつきがみられるものの、総じて減少傾向。水晶振動子やコネクタの受注が減少傾向。
- 輸送機械**：自動車部品は、納入先や車種によるばらつきがみられるものの、タイの洪水の影響による生産遅延を取り戻すために稼働率が上昇するなど、一部に増産の動き。
- 精密機械**：デジタルカメラ部品は、高級機向け部品や試作品などで一定の受注を確保している先がみられるものの、全体では減少傾向。携帯電話用レンズは、生産の海外シフトなどから、受注・生産が減少傾向。医療機器関連部品は、安定的に推移。
- 織物**：ネクタイ地は、足許、受注が前年並みとなっているものの、先行きは不透明。マフラー・ストールは、春先になっても寒さが続いていることから、追加発注が散見。婦人服地は、取扱いブランドにより受注に格差。
- ニット**：3月に入っても寒さが厳しいことから、春物の受注が遅れ気味。夏物も出足が低調に推移し、受注量の前年比減少を懸念。採算面は、原糸価格が値上がりするなか、受注の小ロット・短納期から効率が低下し、厳しい状況。
- 食品**：ワインは、出荷が前年並みの推移。原料価格上昇分の製品価格への転嫁が難しく、採算に厳しさ。清酒は、出荷が幾分持ち直し。ミネラルウォーターは、震災後に需要が急増したものの、足許の稼働率はメーカー間でばらつき。
- 宝飾**：受注・生産は、納入先や取扱品目によりばらつきがみられるものの、ブライダル関連が底固いほか、プラチナ製品にも動きがみられるなど、全体では上向き。採算は、地金価格上昇分の販売価格への転嫁が難しく、厳しい状況。